

AMBITION

北海道大学病院 卒後臨床研修センター Resident NEWS letter

2015season4 (4) H28.1.15 発行



『大変革の時来る』



卒後臨床研修センター
平野 聡 センター長

新年、明けましておめでとうございます。学生の皆さんは冬休みを十分楽しんで過ごされたことと思います(かなり嫉妬)。そんな「うきうきモード」のあなたにちょっと、**びっくり情報**です。

昨年来、新専門医制度の話題が少しずつ飛び交っていると思いますが、この制度が初期臨床研修にも重大な影響を与えることになります。それは「後期研修決定」のリミットの事です。これまで初期臨床研修医は、2年目の秋から冬にかけてゆっくりと自分の進む専門分野を決め、さらに後期研修(いわゆる入局)先を決定するというゆっくりモードで研修2年目の後半を過ごしていました。**ところが、なんと**新専門医制度では初期研修2年目が始まってたった2ヶ月しか経過していない6月から、専門医になるためのプログラムを選択する(=いわゆる入局先を決定する)スケジュールになる予定です。

賢明なる北大医学部生のみなさんは、この大変革で勝ち組になる方法は「情報戦に勝つ」ということ、そして素早く将来のファミリーになる「教室の雰囲気や先輩達の様子をつぶさに見る」事の重要性を容易に理解してくれると信じます。

さあ、初期研修先を選択する規準が変わります。箱根駅伝のランナー達のように、母校愛に満ちた研修医として緑色(スクールカラー)のたすきをかけ、スーパー専門医資格取得の最短コースへ向けて、皆でスタートを切る姿を想像してください。

北大病院初期臨床研修センターで待っています。

リレー企画 第1回目



リレー企画！アドバンスト研修で臨床に強くな

る！！

平成27年からスタートしたアドバンスト研修！新たに5つの部署(検査・輸血部/感染制御部/臨床研究開発センター/臨床遺伝子診療部/超音波センター)での研修が可能となり、実際に10名が研修を行いました。本号から各部署の研修の様子を毎回ご紹介していきます。北大病院だからこそできる研修で、一步先行く研修医を目指してみたいはいかがでしょうか？

第1回目は超音波センター！！



超音波センター
西田 睦 副部長

超音波検査(US: ユーエス)の講義を受講したことはありますか？大部分の研修医が自信を持って「はい」とは言えないのが医学教育の現状ではないかと思えます。客観性に乏しい、検者・被検者依存性が高いとされるUSは、とかく精度の低い画像検査として位置付けられています。その為、画像検査といえば、ついついCT検査をファーストチョイスにしてしまいがちです。ところがUSは極端な話、離島でたった一人で診療する場面でも自分で検査を施行し、

診断、治療を進めることができます。もう少し現実的な場面では、当直先で患者さんが夜間に来院された場合、CTを撮像するために、夜中に技師を起こさなくても、またはCTがない病院でも、画像診断を行うことが可能です。画像診断がなくても問診、身体所見、血液検査から診断をすすめていく、ということもできるかもしれません。

しかしながら、画像診断を追加することで診断精度が向上することはpoint of care USを積極的に導入している欧米諸国からの多数の論文報告で実証済みです。となると、必要なのはUS検査スキルです。短い研修期間となりますが、医師人生の中で集中してUSを研修できるのは今です。

さあ、自身の新しい診断プロセス確立を目指し、プローブを握ってみませんか？

研修した先生に聞きました！



2年目研修医
大東 有香 先生

超音波センターでは心エコーを除く領域の超音波検査を研修することができます。私は救急の現場でエコーを武器に出来るようになりたいと思い、1ヵ月間腹部エコーを研修させていただきました。

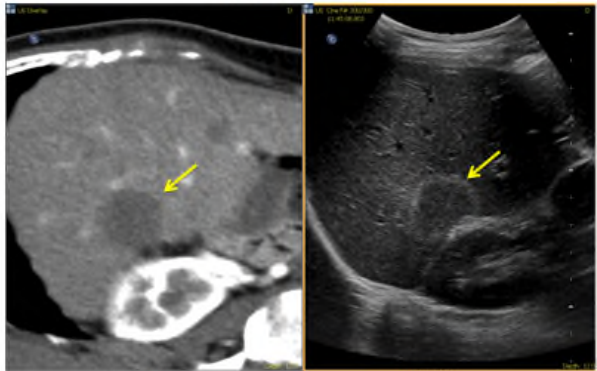
実際の研修では研修医の希望を汲み取って頂きながらも個人の超音波の経験や技術に応じて指導をして頂きます。私は超音波を系統的に学んだことがない超初心者であり、初歩から一歩ずつ教えて頂きました。超音波解剖画像、腹部スクリーニングの走査法、疾患に特有なエコー所見など丁寧に指導して頂き、充実した一ヵ月を過ごせました。実際にエコーを武器に出来るようになるにはまだまだトレーニングが必要ですが、基本を教えて頂いたことで正しいスタートを切れたと思います。超音波のスペシャリストである技師の方々にもっちり指導して頂ける本当に贅沢な研修でした。

さらに学会発表を経験した
研修医も・・・！

2年目研修医(超音波センター10月)の学会発表報告!

第15回北海道腹部造影エコー・ドブラ診断研究会 2015/11/7
一般演題「特異な画像所見を呈した肝類上皮性血管内皮腫の1例」
北大病院超音波センター 常田慧徳先生

CTとUSのfusion検査画像



造影CT画像

US画像

一般演題 座長
前期研修1年目の際の指導医
名寄市立総合病院 鈴木先生

前期研修2年目
常田先生

ご指導させていただいた超音波
センター副部長
西田



立派な発表で、座長とフロアーからの活発な意見交換、討論で盛り上がりました!

超音波センターでの研修に興味を持たれた方はぜひ当院研修の際に選択してみてください。

次号もアドバンス研修をご紹介します。お楽しみに!



イベントカレンダー(H28.1-H28.8)

- 1/21 研修医新年会【研修医】
- 2/ 6 H27年度基本的臨床能力試験(JAMEP)【研修医】
- 2/21 第3回JMECC【研修医】
- 3/ 6 レジナビフェア2016 in 福岡【医学生】
- 3/11 研修修了発表会/修了証書授与式【研修医】
- 3/20 レジナビフェア2016 スプリング in 東京【医学生】
- 3/24 春の先輩ガイダンス(病院見学会)【医学生】★おすすめ★
- 3/29 H28研修医オリエンテーションBコース【研修医】
- 4/1~7 H28研修医オリエンテーション【研修医】
- 4/3 新規採用者多職種合同研修/合同歓迎会【研修医】
- 4/17 北海道庁合同プレゼンテーション【医学生】
- 4月下旬 研修医歓迎懇親会【研修医】
- 7/17 レジナビフェア2016 in 東京【医学生】
- 8/ 6 平成29年度プログラム第1回採用試験【新6年生・既卒生】
- 8/12 夏の先輩ガイダンス(病院見学会)【医学生】
- 8/13 平成29年度プログラム第2回採用試験【新6年生・既卒生】

次号のお知らせ

リレー企画「アドバンス研修で臨床に強くなる！」
第2弾!【4月上旬発行予定】

新専門医制度 NEWS!!

現在北大病院では、新専門医制度に準拠しながらも魅力のある「基本領域専門研修プログラム(18領域)」を練っています。

今後、日本専門医機構での審査を経て、本年6月に各研修プログラムを公表できる予定です。

尚、H27年春に初期臨床研修を開始された皆さんは、本年9月までにいずれかの専門研修プログラムに応募しなければなりません。新専門医制度では、初期臨床研修で利用されている「マッチング方式」ではなく、「専願方式」での選考採用となりますので、遅くとも本年8月には「どの基本領域の専門研修を、どこを基幹施設として受けるのか」決めておく必要があります。

旧制度よりも早い段階で「医師としてのキャリアパスを描く」必要があります。不明な点などありましたら、遠慮なく当センターにご相談ください。



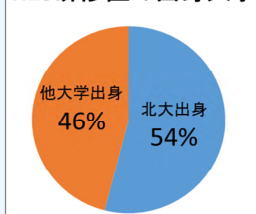
50名が仲間入り! ようこそ北大へ

平成28年度のマッチング結果が発表され、北大病院では昨年度より5名増の50名の方がマッチしました。

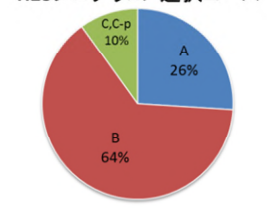
マッチ者の出身大学を見てみると約半数が他大学出身者。初めて北海道に来られる方も心強いですね。

選択コースはというと、Aコース26%、Bコース64%、C・C-pコース10%と、1年目たすぎがけ協力病院研修から開始するBコースが圧倒的な人気ではありますが、どのコースもメリットがあつて悩むところ! コースに悩む学生さんは研修センターに相談してください。あなたにあった研修を一緒に見つけましょう。

H28研修医の出身大学



H28プログラム 選択コース



JMECCに挑戦!

昨年11月1日に本院でJMECCを開催しました。この日は6名の研修医が参加し、一日体を動かし、内科救急について実践的に学びました。

次回開催は2月21日です。参加希望の方はお申し込みください。

申込み締め切りは1/29(金)!



研修センターのつぶやき

正月に旧作映画であるが西川美和監督の「ディア・ドクター」を観た。鶴瓶師匠が演じる「ニセ医者」の話。状況は全く異なるが、何故か研修医時代のことを懐かしく思い出した。研修医の皆さん、今年も頑張りましょう!

ご意見・お問い合わせ ★ご意見お待ちしております
北海道大学病院 卒後臨床研修センター
〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
Tel: 011-706-7045 Mail: sotsugo@med.hokudai.ac.jp